

北海道地方鉱山保安協議会 議事要旨

1. 日時： 令和6年3月21日（木） 14：00～15：30

2. 場所： 札幌第1合同庁舎4階南 特別会議室、Teams 会議

3. 出席者：

（学識経験者）

藤井委員（会長）、伊藤委員、川村委員、中村委員

（鉱業権者代表）

亀井委員、土井委員、松本洋委員、松本裕之委員

（鉱山労働者代表）

浄土委員、並木委員、渡辺委員

4. 議題：

【報告・連絡事項】

（1）令和5年管内の保安状況について

（2）中央鉱山保安協議会の議事報告について

（3）令和6年度鉱山保安監督のガイドラインについて

（4）その他報告事項

5. 議事概要

会議冒頭、会長の互選を行い、藤井委員が協議会会長として選任された。

（1）令和5年管内の保安状況について

●事務局から、令和5年管内の保安状況について説明を行った。

（2）中央鉱山保安協議会の議事報告について

●事務局から、中央鉱山保安協議会の議事報告について説明を行った。

（3）令和6年度鉱山保安監督のガイドラインについて

●事務局から、令和6年度鉱山保安監督のガイドラインについて説明を行った。

（4）その他報告事項

●事務局から、その他報告事項として、令和5年度の管内行事の取組結果、令和6年度管内行事予定について説明を行った。

（委員からの主な意見）

・鉱山保安マネジメントシステムとは何か。

→鉱山保安課長から説明。

- ・災害ゼロは難しいことだが、それに向けて努力することが大事。
- ・道内の災害発生は少ないが、全国では重大な災害も発生している。まずはヒヤリハットに十分に気をつけ、災害防止にあたることが重要。
- ・CCSは、大学でも事業者にも特別講義を実施してもらおう等連携を図っている。実施にあたっては漏出防止対策をしっかりと行い進めて行かなければならない。
- ・昨今は、オンライン化、IT等の新技術の導入も議論していることが良く分かった。もっと進めるべき。
- ・安全の意識付けとともに、自動化など、AI技術の活用も含め進めていきたい。
- ・保安は属人的になることが多いが、システムの保安を構築していくことが大事。
- ・最近熱中症のニュースを聞く。これを十分注意していかなければならない。
- ・高齢者も多くなっていることから、朝礼時に作業等を確認し安全確保に努めている。

お問合せ先
北海道産業保安監督部
鉦山保安課
電話：011-709-2311(2821)